



会長あいさつ

NIA 会員の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、令和 6 年の各部会では、ホームステイ & ビジットや市内全戸配布の NIA ニュースの発行、そして語学講座や日本語教室の活動も元気に進めることができました。全体事業においては、市民会館の小ホールにて、名古屋商科大学の国際交流担当の皆さんや留学生、日本人学生のご協力をいただき、市民の皆様や会員の皆様に楽しんでいただけるインターナショナルデイを開催できました。さらに、異文化交流会や市民まつり、わいわいフェスティバルなども、各部会や会員の皆様のご協力のおかげで、とても素晴らしいイベントとなりました。

近年、日進市においても在住外国人の方々が増え、「多文化理解新発見講座」や「つたわる日本語ワークショップ」、「Let's Enjoy Japanese "calligraphy"」などのイベントを開催し、多文化共生に関する事業がますます充実してきています。活動内容も広がりを見せ、今後ますます多くの方々にご参加いただけることを楽しみにしております。引き続き、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日進市国際交流協会 会長 杉浦蔦枝



特集

Discovering Cultures, Learning Together

最近よく聞く「多文化理解・多文化共生」ってなに？

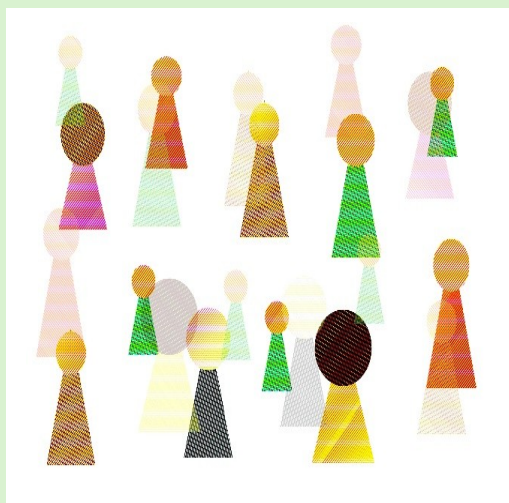
最近よく耳にする「多文化理解」「多文化共生」という言葉。なんとなくわかるようで、実はしっかり説明するのは難しいものです。多文化共生とは、国籍や民族、文化が異なる人々が、互いの違いを尊重し、対等な関係を築きながら同じ地域社会で共に生きることを指します。

そこで、日進市の大学の先生で、NIA の活動に深く関わっていただいている方々に、「多文化共生」について語っていただきました。

次ページからの特集で、皆さん一緒に学びましょう！

先生方のご紹介

- ・ グレゴリー・L・ロウ先生（愛知学院大学）
- ・ 磯野英治先生（名古屋商科大学）
- ・ 平山陽洋先生（名古屋外国語大学）
- ・ 山田貴将先生（愛知学院大学）



グレゴリー・L・ロウ 先生 Gregory Lewis Rohe 愛知学院大学文学部グローバル英語学科 教授

I was born in Boston, in the United States, and grew up in Chicago. I have been teaching at Aichi Gakuin University (AGU) for 25 years. I am currently a professor in the Global English Department (グローバル英語学科), the Associate Director of the AGU Center for International Programs (国際交流センター幹事), and the Director of the AGU Library and Information Center (図書館情報センター館長).



Going Abroad? The Question Isn't What to Pack. It's What to *Be*!

Every year Aichi Gakuin University sends students abroad to study. Those students, many of whom are leaving Japan for the first time in their lives, often ask me what I feel are the most important things to bring when travelling abroad. While many students are going abroad with a goal of simply improving their language skills, as a teacher, I feel that the goal is deeper still: I feel that the goal of travelling abroad is to start developing a sense of cross-cultural understanding. With this in mind, I tell students that far more important than what they pack in their suitcases is what they bring in their hearts. There are some important personality traits that are absolutely essential to becoming culturally aware. If cultural awareness is the goal, the question isn't what to pack, it's what to *be*.

Be curious! It can feel overwhelming to be surrounded by a different culture, one that is completely new to you. Perhaps it's a normal reaction simply to retreat into one's shell and quietly peer out occasionally, trying to figure things out. This is the time, though, to do the exact opposite. This is the time to jump in and start asking questions: "What is that?" "What does this mean?" "Why do you do it that way?" It's only by being actively curious, by challenging yourself to ask questions when you encounter something you don't understand -- and by continuing to ask questions until you feel that you've figured it out! -- that real cultural understanding begins. The secret is to nurture your need to know, and to let your curiosity run rampant.

Be open! Of course, cultural understanding isn't only about asking questions. It's about sincerely trying to understand the answers with an open mind and an open heart. Being open to new ideas and ways of thinking is an essential part of becoming a smart, tolerant person with a broad view of the world. Being open is the first step to seeing things in a completely new way, and perhaps feeling entirely new emotions. With that said, though, being open-minded and open-hearted doesn't mean wholeheartedly embracing everything, particularly if you find something to be really objectionable. You don't need to love everything. Being open means accepting new things so that you can analyze and sincerely evaluate them, and eventually come to your own conclusions.

Be enthusiastic! Of course, real learning isn't passive. It's actively pursued with an enthusiastic joy. Don't forget, though, that cross-cultural understanding is a two-way street. Be prepared not only to be an enthusiastic learner, but an enthusiastic teacher as well. There are so many fun, exciting and important things happening in your own culture -- Be prepared to have a curious, open audience when you go abroad, an audience that's enthusiastic to hear what you have to teach them about your home.

Curiosity, openness and enthusiasm. These are qualities that will serve you well anywhere, because cross-cultural understanding can happen in a distant country or right here at home. Ultimately, the journey toward cross-cultural understanding is a dual journey, one outward, toward the understanding of foreign cultures, but another inward, towards an understanding of your own culture, and indeed, yourself. It might be one of the most important journeys you ever make. Bon Voyage!

異文化交流会 2025
6月21日(土)決定!

申込み開始

5月中旬～

詳細はこちら



多文化共生社会と相互理解 のために知っておきたい 言語景観の知識



磯野 英治 先生

名古屋商科大学 国際学部 学部長／教授。
博士(日本語教育学)。韓国語教育学会
理事、韓国日本語学会理事、国立国語研究
所共同研究員などを歴任。著書、講演多数。

「言語景観」という言葉をご存じですか。言語景観とは、公共空間にあり、不特定多数に向けられている、自然に視野に入る書き言葉を指します。そして、対象となるのは看板、掲示物、のぼり、ポスター、ラベル、ステッカー、シールなど様々です。言語景観(英語では”Linguistic landscape”)は、端的には公共空間にあること、そして可視的であること(つまり書き言葉)というふたつの条件が必要で、街中のあらゆる公共表示・商用表示が対象になると言えます。

言語景観は日本人だけではなく、外国人にとっても日本で生活する上で、必要な情報が書かれている重要なものです。またそれらの多くは日本語で書かれています。日本で生活していて外国人に分かりにくい言語景観には何があるでしょうか。難しい漢字や文法、言い回しや方言などが思い浮かぶかもしれません。しかし、これらは日本で生活し、日本語を勉強する中で慣れてくるものです。一方で、身近な言語景観の中には、一見簡単そうに見えても複雑なもの、日本文化が含まれていて、そもそも意図の読みにくいものが存在します。言語景観には、どのような日本・日本語固有の特徴があるのでしょうか。

日本語はひらがな、カタカナ、漢字を使い分ける言語です。しかし、こちらのラーメン店の言語景観を見て下さい。「らあめん」と書いてありますね。ラーメン店の言語景観にはバリエーションがあり、一般的な表記である「ラーメン」のほか、「ラ～メン」「らーめん」「ら～めん」「らあめん」「らー麵」「らあ麵」「拉麵」など様々です。このような飲食店



に関する同じものを指す言語景観の語彙のバリエーションは「焼き鳥」「焼とり」「やき鳥」「やきとり」、「レストラン」「れすとらん」など数多くあります。また、飲食店に限らず「車くるま」ではなく、「クルマ」とあえてカナカナ表記するような事例は、例えば「眼鏡」「めがね」「メガネ」など多く存在します。

このように通常漢字で表現する言葉をひらがなやカタカナに、あるいはカタカナで表現する言葉をひらがなや漢字で表記し、一般的な書き方をあえてしないことによって、近づきやすさや雰囲気作り、目につきやすさを狙う事例は名詞を中心に、形容詞、動詞、副詞などがありますが、外国人が学んだ日本語の通常表記とは異なるため、一見して分かりにくい表記になると言えるでしょう。

また、街中の言語景観にはよく絵が使われています。何らかの情報を提供したり、注意を示すために表示される絵文字や絵単語をピクトグラムと言います。ピクトグラムは現地の言語が分からない人に伝わるのが原則ですが、中には文化的知識を必要とする例もあります。例えば、こちらには「なまず」の絵が書かれています。日本ではなますが地震を引き起こす、あるいは地震を予知するなど、様々な説と言い伝えがあり、なますは地震と密接に関連することからこのような絵が描かれている訳です。同様に河童や温泉マークも同様に分かりにくい例と言えるでしょう。



国際化の進む現在、日本のより良い多文化共生社会と相互理解の実現のために、街中の言語景観を分析してみませんか。



7月12日(土)開催!

第3回多文化理解新発見講座
「外国人から見たここが不思議!
日本語&日本文化《実践編》」

@日進市立
図書館



日本の少子化・労働力不足 とベトナム人



平山 陽洋 先生

名古屋外国語大学世界教養学部世界教養学科
研究:ベトナム現代史、東南アジア冷戦史
教育:国際協力、多文化共生

2025年2月末に、2024年に日本で生まれた子どもの数が9年連続で減少し、過去最少の72万人となったと報道されました。この「72万人」という数字には、外国籍の出生者も含まれています。その数字は厚生労働省から発表された速報値で、日本人のみの出生数はまだわからないのですが、おそらく70万人を切るだろうといわれています。

こうした少子化が日本社会の労働力不足をもたらし、外国人労働者の移入が推進されてきたという議論も、10年前と比べて、かなり日本社会に定着してきたように感じます。この間、建設業や機械金属加工業、繊維業、食品製造業、農業、漁業、介護など、日本人の後継者が不足する業界を中心に、外国人労働者は着実に増えました。2014年10月に79万人だったその数は、10年後の2024年10月には230万人を超えました。日本社会は、他の先進諸国と比べて、中小企業での従業が雇用全体に占める割合が7割と高いため、外国人労働者が働く場も中小企業が中心です。

スイスの作家マックス・フリッシュは1965年に「我々は労働力と呼んだが、やってきたのは人間だった」という言葉を残しました。この言葉が数年前にメディアでしばしば取り上げられ、日本社会における外国人労働者の受け入れ方を考えるきっかけを提供しました。外国人労働者は、日本人の代わりとして働くだけの存在なのではなく、日々さまざまな思いを抱えて生活しています。人として、悩むことも、怒ることも、悲しむことも、笑うこともあります。同郷の人とおしゃべりし、故郷に思いをはせることもあります。

この10年でもっとも数が増えた外国人労働者は、実は、ベトナム人です。2014年10月に6万人強だったその数が、2024年10月には57万人を超えました。ベトナムの方々は、「技能実習」「特定技能」という在留資格のもとで、先に記した業界の中小企業で働いている場合が多いです。おおよそ、日本人高卒者と同じ水準の収入を得ています。

ベトナムは、現在、人口が1億人を超えます。急速な工業化と経済発展の進展を背景に、2024年の労働者の平

均月収が4万円強となりましたが、地域によってはその半額ほどです(都市部を中心に、平均月収が全国平均より高い地域もあります)。日本に働きにくるベトナム人の多くは、日本社会で一生懸命働き、得た収入から、故郷の家族に仕送りをしています。

日本社会を生きるベトナムの方々、そして、ベトナム人を含めた外国人労働者の方々は、何を感じ、何を思っているのでしょうか。同じ日本社会のいまとともに生きる者として、ベトナム人を含めた外国人労働者の方々と私たち日本人が交流し、お互いの理解を深めるとき、多文化が交じり合う新しい日本社会の姿が現れてくるのではないのでしょうか。



↑ 旧正月を祝うベトナム人のイベント「ふるさとの春2025」
(2025年1月18日(土)、19日(日)に久屋大通公園で開催)

10月16日(木)～開催決定！
「はじめてのベトナム講座(木曜日全5回)」
@日進市民会館
8月末頃受付開始予定

多文化共生に向けて 異文化コミュニケーションの スキルを高めましょう！

最近、日本では急速に国際化が進んでおり、多文化共生がますます大切なテーマになっています。外国からの観光客や移住者が急増し、企業の国際展開も更に拡大する中で、異文化を理解し、うまくコミュニケーションを取る力が求められています。これまで比較的単一文化の社会であった日本も、今では留学生や外国人労働者が増え、多様な文化が共存する多文化共生社会へと変わりつつあります。皆さんも毎日の生活の中でそれを実感なさっていることと思います。

このような変化の中で、異文化コミュニケーションは、私たち一人ひとりが円滑な人間関係を築き、社会を安定させるために不可欠なスキルになってきました。日本人のコミュニケーションには、しばしば「空気を読む」や「間接的な表現を好む」などの文化的な特徴があります。これらは日本人にとっては自然なことでも、外国から来た方々には理解しづらいかもしれません。また、日本人が外国の文化に対して十分に理解していない場合、誤解や摩擦が生じることもあります。

私たちが、こうした文化の違いを理解し、適切にコミュニケーションを取ることができるになれば、地域で暮らす外国人住民との理解や協力が進み、より豊かで住みやすい社会を作っていくことができるようになると思うのです。

では、どうしたら異文化コミュニケーションのスキルを高めることができるのでしょうか。それは、「実践的なトレーニングを受けること」です。異文化を理解し尊重することは大切だと頭の中で分かっているだけでは不十分で、それを実際のコミュニケーションの中で「できる」ようにしていく必要があります。

そこで、2025 年度には「多文化共生時代におけるコミュニケーションスキル」をテーマに、市民のみなさんと一緒に学ぶ機会を設けたいと考えています。

この機会を通じて、異文化理解を深め、実際にどうコミュニケーションを取るべきかを学ぶことができます。



山田 貴将先生

愛知学院大学文学部グローバル英語学科准教授
名古屋大学大学院経済学研究科、及び国際言語文化
研究科修了(修士・経済学、学術)。

グローバルメーカーや経営コンサルティング会社等
を経て、2019 年～2023 年南山大学国際センター講
師、2024 年より現職。

専門は、英語教育、異文化コミュニケーション、グローバル人材育成。

異文化を理解し尊重することが、地域の発展にどれだけ大きな力になるのかを実感できるでしょう。みなさんと共に学び、成長していけることを楽しみにしています！



↑アジアの成長を肌で感じた学部生時代。ベトナム、韓国の留学生と共に。(筆者：左から 2 番目)



3 月上旬に 1 週間程、ベトナムのハノイに行ってきました。この写真に写っている女性はフンさんと言って、1995 年頃名古屋に留学していた方です。

当時所属していたゼミの活動でフンさんと仲良くなった私は、その影響を受け、ベトナムに留学しました。

知り合ってから 30 年近く経った今でもこうやって友人であり続けられることは私にとって最大の喜びです。

2025 年度 秋以降で開催予定！

「異文化スキルコミュニケーション」講座

詳細は、広報につしん、NIAHP、インスタ等でご案内予定

～NIA を考える～

ワークショップ

第2回 Workshop

みんなで楽しめる活動を！

2月5日(水) 13時～ にぎわい交流館会議室にて

昨年行われた第1回ワークショップ「今後の NIA の活動について」で出た意見や提案について、徹底検証！ 会員からの声をご紹介します。部会に所属していない方も、イベントに参加したり、手伝ったりして、一緒に楽しみましょう！

ホームステイ部会

年2回だけのホームステイ・ビジットだけど、メンバーが増えてうれしい！ 今、熱い部会です。それ以外の時にもみんなで集まりたいな～。



日本語部会

毎週のにほんご教室は大変だけど、やりがいバツグン！ もっと部員が増えたらいいな。勉強会も頑張ってる～。

事務局

事務手続きや会則の見直しをしました。会計やPCなどのスキルのある方、一緒に活動しませんか？



広報部会

紙や印刷代の値上がりで予算がタイヘン！ 各部会に広報担当を作って、情報ください！ Webに詳しい人材も募集中！



語学部会

語学講座は盛況！ 部員同士の交流も増やしていきたい。Chatty Roomなどの活動もまたしたいな。



全体事業

インターナショナルデイ、わいフェス、多文化交流のイベントなど、もっとみんなで参加して盛り上げよう！ 他の部会の仲間と一緒に活動できる実行委員も増えたいな。大募集！



ホームページ

もっと見やすいものを検討中！ 楽しいHPができたらいいな～！

Instagram

もっとタイムリーに情報の配信をするよ！ 担当が増えました。みんな見てね！

つたわる日本語 ワークショップ

- 2月24日(月祝)
どう伝える？もしもの時に！【災害編】
 - 3月4日(日)
どう伝える？日常のルールとマナー【生活/仕事編】
- ファシリテーター：横井 由香 氏

(外国人材定着支援スプラウト合同会社代表/日本語教師)



外国人ゲストのみなさん



5つのルールを使って話します



横井氏(中央)と発表者の様子

参加者同士の対話を通じて楽しみつつ、外国人の方に伝わりやすい日本語を考えました！

会員紹介

NIA の活動には、さまざまな方が参加しています。
今回はその中から、現役大学生を含む4名の方をご紹介します。

夢は「世界中に友達を作ること」 ホームステイ部会 いのうえ 井上 ゆう子（2023 年入会）

学生時代、留学生のホストファミリー募集があったのですが、条件が合わず断念。いつかホストファミリーをしてみたいと思っていたところ、広報に入っていた NIA ニュースを見て NIA ホームステイ部会に入りました。ホームステイ部会では年 2 回のホームステイを実施しており、私は、部長やパソコン担当と連携して留学生への案内、ホームステイ希望者の募集、部員への企画の案内などを行っています。私には小学生の子どもが2人で、これまでに 3 回、ホームステイのホストをしました。子どもたちは、今度はどこの国の留学生が来るのか、一緒に何をして遊ぼうか、と毎回ホームステイを楽しみにしています。留学生が帰国してからメールや SNS で交流を続けていて、昨年は台湾へ帰った留学生に会いに行くことができました。子どもから、世界中に友達を作って会いに行きたい！とリクエストがありますので、これからも楽しく活動していきたいです。



台湾の留学生(右)と再会。台南駅前

日本語教師を目指して

日本語部会 うちだ あかね 内田 朱音（2023 年入会）



朱音さん(左)と
ホームステイに参加の留学生

将来、日本語教師として働くために、まずはボランティアとして「日本語を教える」経験を積むことを目指し、NIA に入会しました。母が NIA のホームステイ部会の会員だった影響で、幼い頃からホームステイやビジットを通じて海外の方々と関わる機会があり、英語や異文化に対する興味が芽生えました。大学では外国語を学び、講義を通じて日本語教師という職業の存在を知りました。NIA で実際に教えてみると、普段母国語として使っている際には気づかない疑問や外国の方からの質問によって新たな発見があり、日本語の難しさを実感する一方で、やりがいも感じています。また、昨年は 2 回の交流会が開催され、学習者の母国料理を作ったり、ボードゲームを楽しんだりすることで、日本語学習だけでなく、各国の文化を知る貴重な機会となりました。これらの経験を通じて、より深く日本語教育に携わりたいという思いが強まりました。

新しい出会いと学び

広報部会 すずき しょうま 鈴木 渉摩 どき しろん 土岐 矢龍（2024 年入会）

以前、子ども食堂を訪問する機会があり、そこでボランティアに興味を持ちました。そこから日進市にもボランティア団体があることを市のホームページで知って入会しました(鈴木)。

昨年 NIA に入会し、広報部会員としていくつかのイベントに参加させていただきました。まだまだ分からないことも多いのですが、自分なりに頑張っています！インターナショナルデイに参加したときには、普段は関わることが少ない外国の方と話すことができたのでとても良い経験になりました。僕は英語を全く話せないのでコミュニケーションの面で不安もありましたが周りの方のサポートもあり、意思疎通をすることができたのはとても嬉しい体験でした(土岐)。

これからも NIA での活動を通して新しい出会いや価値観に触れていきたいと思います(鈴木、土岐)。



渉摩くん(右)、矢龍くん
米野木神明社にて初詣

2025 年度予定 ♪みなさん一緒に楽しみましょう♪ (4/1 現在の情報です。変更になる場合もあります)

			内容		受付開始
4月	9(水)～	10 時 30 分～	外国人のための日本語教室 (毎週水曜日)	にぎわい交流館	受付中
	3、10、17、24、 5/1(木)	10 時～	初級英会話講座 (全 5 回:毎週木曜日)	市民会館	開催中
5 月	17(土)	10 時～	第 34 回総会	にぎわい交流館	
	8、15、22、29、 6/5(木)	10 時～	入門初級イタリア語講座 (全 5 回:毎週木曜日)	市民会館	先着順 受付中
	31(土)～6/1 (日)	※ホームステイ 部会対象	第 1 回ホームステイ・ビジット (5/17 土マッチング・6/14 土報告会参加要)		4/25 迄の部 会入会者
6 月	21(土)	13 時～	異文化交流会 「ロウ先生のおはなし」(仮)	にぎわい交流館	5/15 受付 開始
7 月	5(土)	10 時～	わいわいフェスティバル	市民会館	自由来所
	12(土)	10 時 30 分～	第3回多文化理解新発見講座 ※第1回、第2回の動画配信有	図書館(予定)	5/15 受 付 開始
8 月	8 月末または 9 月		日本語ボランティア養成講座	未定	未定
9 月	4、11、18、25、 10/9(木)	10 時～	初中級英会話講座 (全 5 回:毎週木曜日)	市民会館	8 月頃
10 月	16、23、30、 11/6、13(木)	10 時～	はじめてのベトナム語講座 (全 5 回:毎週木曜日)	市民会館	8 月頃
11 月	16(日)(未定)		市民まつり		
	調整中		第 2 回ホームステイ・ビジット		未定
	23(日)	未定	インターナショナルデイ	市民会館	未定
1 月頃		未定	つたわる日本語ワークショップ	未定	未定



※上記の他にも、「外国語で気軽におしゃべり」「やさしい日本語で外国人と話そう」「外国生活を紹介しよう」など、小人数で楽しめる会も企画中です。詳細は随時ご案内していきます。

●多言語版 広報につしん(英語/中国語/韓国語): 日進市及び NIA ホームページ等ご覧ください。

●外国人相談室(月～金曜日 9時～12 時、13 時～16 時):お気軽にお越しいただき、さまざまな声をお聞かせください。会員の皆様からの自主企画もお気軽にご相談ください。

●メール登録がお願いいたします ➡ nia.kokusai@gmail.com

＊ ＊企画実行委員や当日スタッフ、事務や会計など、
ご協力いただける方、募集中！ ＊ ＊

日進市国際交流協会 日進市蟹甲町中島277-1 にぎわい交流館2階
受付時間 / 月曜～金曜 9:00-12:00、13:00-16:00
TEL 0561-73-1131 申し込み専用メール : nia.kokusai@gmail.com

